

申請書及び家庭調書記入上の注意

1. 基準日（前期申請分は申請年度の4月1日、後期申請分は10月1日）現在の状況を記入してください。
2. 申請者本人が黒のボールペンで記入し、訂正する場合は修正液等を使用せず、訂正箇所に二本線を引き、余白に正しい内容を記入してください。
3. 太枠内の項目をすべて記入してください。また、※印は該当するものを○、もしくは□にチェックをして選択してください。（裏面も含む）

申請書記入例

受付番号		検印	
(カ・ヒ・独・留)			
学生番号(注) Student ID		M O O J O O O O A	
授業料免除・入学料免除等申請書 Application for school fees exemption			
鳥取大学長 殿 To President, Tottori University		提出日 20XX 年 X 月 XX 日 Year Month Day	
持続性社会 創生科学	研究科 Graduate school	工学 専攻 Major	※ <input checked="" type="checkbox"/> 修士・博士前期課程 Master's program <input type="checkbox"/> 博士・博士後期課程 Doctoral program
入学年月: XXXX 年 ※ 4 月・10月入学 Entered to the university Year April October			学年: 2 年 Grade
フリガナ 氏名 Name	トットリ タロウ 鳥取 太郎 (学生本人署名) Applicant's signature		
本人現住所 : (〒 XXX-XXXX) Applicant address	鳥取市湖山町南101 大学アパート102号室		
T E L : (携帯) Cell phone	XXX-XXXX-XXXX		
メールアドレス : Mail address	XXXXXX@XXXX.ne.jp		
※20XX年度			
<input type="checkbox"/> 入学料免除 Entrance fee exemption <input type="checkbox"/> 入学料徴収猶予 Entrance fee deferment <input checked="" type="checkbox"/> (前) 後期分) 授業料免除 Tuition fee exemption			
(入学料と授業料の併願可。その場合関係書類は1部のみで構いません。)			
の許可をくださるよう関係書類を添えて申請いたします。			
【(大学記入欄) 入学料免除・徴収猶予 受付】			
受付番号		受付印	
担当者			
申請理由 (免除申請するに至った理由。主たる生計維持者が無職・失職中の場合、生活費の出所も必ず記入すること。) (Explain in detail why you need to apply for a tuition fee exemption. If your main family finance supporter is unemployed, fill in current source of living expenses.)			
父は、勤めていた会社を20XX年1月に辞めて3月に転職しましたが、給料は安く、			
また、わずかな田畑で農業を営んでいますが、自家消費程度のもので収入はあまりありません。			
姉は、4月から就職し、実家から勤めに出ます。			
弟は、県外の大学、4月からは妹が高校進学と、私を含め就学者が3人となり、			
家計に占める学費の割合は高くなっています。			
祖母は、足が不自由で身体障がい者の認定を受けており、母は介護のため働きに出ることができません。			
私もできるだけアルバイトをして家計を助けるようにしていますが、			
ぜひ授業料の免除をしてくださるようお願いいたします。			
休学歴 Absence from school	期間 Period	理由 Reason	※ 留学・病気・その他 () Study abroad / Sickness / Other ()
前回の授業料 免除結果 Previous tuition	※ 申請なし・全免・ 半免 ・不許可 Not / Full exempted / Half exempted / Rejected	私費外国人留学生の 渡日年月 When you came to Japan	年 月 Year Month
成績認定 (博士/博士後期課程のみ) Doctoral program	(必須) Required	指導教員等署名 Academic adviser's signature	

太枠内の項目をすべて記入してください。

また、※印は該当するものを○、もしくは□にチェックをして選択してください。

(裏面も含む)

提出年月日を記入してください。

「申請理由」欄
・免除を申請するに至った家庭事情やその他特に説明を要する事情を、家族全員の現在の状況がわかるように、本人の立場で具体的に記入してください。
・生計維持者が現在無職又は無職に近い状態で、経常的な収入が皆無もしくは僅少な場合は、生活費の出所を詳しく記入してください。

「休学歴」欄
休学した期間及び理由を記入してください。

「私費外国人留学生の渡日年月」欄
私費外国人留学生のみ

「成績認定」欄
大学院の博士課程及び博士後期課程の学生のみ指導教員等が特に学業優秀と認める署名が必要です。

家庭調書記入上の注意点

★「家族状況」欄

1. 「**家族**」は同居・別居を問わず、申請者と生計を一にする者全員を記入してください。
 (例) 生計維持者と同居する者、生計維持者と同一生計であるが修学や単身赴任・病気療養等により別居している者、生計維持者の被扶養者など
 ※基準日現在において、就職や結婚により独立の生計を営む兄弟姉妹や、生計を一にしない祖父母等は、世帯人数に数えないため記入する必要はありません。
2. 父母死別・生別の場合は、氏名欄に「死別」又は「生別」と朱書きしてください。
 (氏名の記入は不要)
3. 「職業」：会社員，食品小売業，地方公務員，小学校教員などと具体的に記入してください。
 主婦，家事手伝い，無職等の場合もその旨記入してください。
4. 「勤務先」：〇〇会社，〇〇商店，〇〇市役所，〇〇市立〇〇小学校などのように記入してください。事業主の場合は，〇〇商店経営等と記入してください。
5. 「就職年月」：現在の職業に就いた年月を記入してください。

★「就学者」欄

就学者とは、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学（短期大学・大学院・大学の専攻科・別科を含む）、盲・聾・養護学校、専修学校（高等課程・専門課程）に在学する人です。
 該当する設置区分・学校区分・通学区分を○で囲み、学校名を書いてください。（高等学校以上の就学者については、在学証明書（原本）もしくは学生証（生徒証）の写を添付）

《記入例》

家族状況	生計維持者 Livelihood maintainer		続柄 Relationship	氏名 Name	年齢 Age	職業 Occupation	勤務先 Place of work	就職/開業 Working from	給与所得の収入額 (税込) (千円)		給与以外の所得額 (税込) (千円)	
	父	母						S・H X年 X月				
就学者 Students	本人 Applicant	(学生番号：鳥取大学生のみ) 氏名 Name (年齢 Age)	設置 区分	在学学校 (学年) School type (Grade)			通学区分	就学者 (本人含む) と 未就学児を含めた人数 ※ 1: 2人以下 2: 3人以上 (多)				
	弟	(M00J0000A) 鳥取 太郎 (23 才)	※ 1: 小学校 2: 中学校 3: 高校 4: 大 5: 高専 6: 専修学校(高等) 7: 専修学校(専 学校名 ○○大学△△学部 (3 年)	※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2						
	妹	鳥取 ふゆ子 (15 才)	※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2						
			※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2						
			※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2	※ 1: 1 2: 2						
その他の家族 Family members Other than Students	祖母	鳥取 はる	73	無職	年金受給	生計を同一とする祖父母・兄弟姉妹 について記入してください。						
	姉	鳥取 あき子	24	公務員	□□市役所							

部分は記入しないでください。

★「収入状況」欄

生計維持者の収入状況について、以下4点を確認しながら記入してください。

(生計維持者:原則父母。父母がともにいない場合は父母に代わるもの。独立生計の場合は本人と配偶者。)

1. 所得は、前年1月から12月までの1年間の収入金額を前年分の源泉徴収票、確定申告書、又は市区町村民税申告書の写により記入してください。

(ただし、前年中途又は今年になって新たに就職・転職(開業含む)した場合は、下記4を参照し推算額を記入してください。)

《記入例》

《源泉徴収票》

収入状況 Income status	区分	続柄	
		父	母
給与収入額 Income from employment	給与・賃金・賞与・役員報酬	4,532,688	
	年金・恩給		
	雇用保険・公的生活扶助料等		
	アルバイト(証明書あり)		
	給与収入額合計	4,532,688	
給与以外の所得額 Income other than employment	商・工・農林・水産業	376,500	
	家賃・地代・利子・配当	0	
	アルバイト(証明書なし)		
	その他	376,500	
	給与所得以外の所得額合計		

令和 年分 給与所得の源泉徴収票

鳥取県米子市西町86

給与・賞与 4,532,688

2. 「給与所得の収入額」は給与・年金等の源泉徴収票の支払金額を記入してください。
※児童扶養手当は、「雇用保険・生活扶助料等」の欄に年額を記入してください。

3. 「給与以外の所得額」は、確定申告書等による収入金額等から必要経費を差し引いた所得金額を記入してください。

所得金額の合計結果がマイナスとなる場合は「0」と記入してください。
マイナス金額を他の金額と相殺させることはできません。

4. 前年1月2日以降に就職・転職(開業含む)した場合は、出願時現在の所得を基に年間所得金額に見合う金額を次の計算方法により推算して記入してください。

(様式4又は様式5を添付)

《年間所得金額推算方法》(給与所得者の場合)

- ・賞与「有」の場合: 3ヶ月の合計 ÷ 3 × 15 又は 3ヶ月の合計 ÷ 3 × 12 + 賞与額
- ・賞与「無」の場合: 3ヶ月の合計 ÷ 3 × 12

《確定申告書》

令和 年 月 日 令和 0 年分の所得税及び復興特別所得税

住所 683-8503 鳥取県米子市西町86

収入金額等

専業等	①	
業	②	1,880,798
不動産	③	1,200,000
利子	④	
配当	⑤	
給与	⑥	4,532,688
公的年金等	⑦	
推業務	⑧	
その他	⑨	
短期	⑩	
長期	⑪	
一時	⑫	
専業等	⑬	
業	⑭	376,500
不動産	⑮	△1,200,000
利子	⑯	
配当	⑰	
給与	⑱	3,085,600

税金の計算